

令和3年度 教育部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策（教育部関係分）

政策 06 子育て・教育	政策展開の方向性																																															
	<p>子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくります。教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。</p>																																															
令和3年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）																																																
06-02 子どもの教育の充実																																																
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続し、学びの保障に努めます。 ・国が進める「GIGAスクール構想」に合わせ、新学習指導要領に対応した指導者用デジタル教科書を導入し、タブレット端末等による授業を行うなど、ICTを活用した学習活動の充実を図るとともに、専門事業者や市内大学と連携したサポート体制により、教員の負担軽減に努め、学校教育における効果的なICT活用の推進を図ります。 ・児童生徒が授業の内容を理解し、確かな学力を定着できるよう、学習サポート教員の派遣や外国語指導助手による授業など、一人ひとりの個性やニーズに応じたきめ細やかな教育を推進します。 ・心身ともに健康な子どもたちの育成のため、大学と連携して、モデル校での朝運動プログラムを継続するほか、大学教員による出前授業や走り方教室などを通じて、児童生徒の体力向上に取り組みます。 ・様々な悩みや課題を抱える児童生徒の支援として、適応指導教室「すぼっとケア」を継続するほか、相談体制の充実に取り組むとともに、スクールソーシャルワーカーによる関係機関との連携強化を進めます。 ・障がいのある子どもに対する支援体制及び環境整備として、特別支援教育支援員の配置や教室などの施設整備を行うほか、医療的ケア児の受け入れ準備を進めます。 ・安全・安心な教育環境を確保するため、「江別市学校施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した施設設備の更新等を計画的に行うなど、学校施設・設備の維持保全に努めます。 ・全小中学校に整備した「校務支援システム」の有効活用により校務の効率化を進めるなど、教職員の働き方改革に取り組みます。 ・学校における読書活動の充実を図るため、学校図書館の蔵書率向上を進めるとともに、情報図書館と連携して、司書の巡回配置による環境整備や朝読書などの教育活動支援を行います。 ・地域とともにある学校づくりに向けて、学校、家庭、地域の連携・協力を推進するため、学校支援ボランティアの全市の派遣を継続するとともに、相互に連携して子どもを育てる持続可能な仕組みづくりのため「えべつ型コミュニティ・スクール」により、家庭や地域の積極的な教育活動への参画を促します。 ・新たに策定した「江別市小中一貫教育基本方針」に基づき、これまで取り組んできた学校間連携をさらに進め、小学校と中学校の円滑な接続や義務教育9年間を通じた系統的な教育活動の実現を目指し、市内全公立小中学校への小中一貫教育の導入に向けた準備を進めます。 ・地域全体で青少年の健全育成に取り組む活動を推進するため、青少年育成団体等との連携強化に努めるとともに、体験的な学習活動の機会充実を図ります。 																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て環境が充実していると思う保護者の割合</td> <td>%</td> <td>44.6</td> <td>45.6</td> <td>50.0</td> <td>47.9</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>教育施策に満足している保護者の割合</td> <td>%</td> <td>78.0</td> <td>90.6</td> <td>88.5</td> <td>84.1</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>「生きる力」が身についた児童・生徒の割合</td> <td>%</td> <td>81.7</td> <td>81.5</td> <td>83.5</td> <td>81.9</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td colspan="7">教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況</td> </tr> <tr> <td>「学校教育基本計画」 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童生徒の割合</td> <td>%</td> <td>76.2</td> <td>74.0</td> <td>76.6</td> <td>75.3</td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	H29年度	H30年度	R元年度	目標	子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	45.6	50.0	47.9	↗	教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	90.6	88.5	84.1	↗	「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	81.7	81.5	83.5	81.9	↗	教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							「学校教育基本計画」 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童生徒の割合	%	76.2	74.0	76.6	75.3	↗
政策の成果指標	単位	(初期値)	H29年度	H30年度	R元年度	目標																																										
子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	45.6	50.0	47.9	↗																																										
教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	90.6	88.5	84.1	↗																																										
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	81.7	81.5	83.5	81.9	↗																																										
教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																																																
「学校教育基本計画」 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童生徒の割合	%	76.2	74.0	76.6	75.3	↗																																										

政策 07 生涯 学習 ・ 文化	政策展開の方向性						
	市民が生涯にわたって、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える場を提供し、市民が心身ともに健やかで充実した生活を営めるようにします。また、長い歴史を持つれんが産業や文化・歴史遺産を通じて、市民のふるさと意識の醸成を図ります。						
	令和3年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）						
	07-01 生涯学習の充実						
	<ul style="list-style-type: none"> 市民の交流や学習活動の拠点となる、公民館や情報図書館などの社会教育施設の感染症対策を徹底し、安心して利用できる施設運営に努めるとともに、多様な学習活動の機会確保に努めます。 社会教育関係団体が主体的・自立的に活動を展開していけるよう、事業費の補助や公民館等の使用料減免など、安定的な運営に向けた支援を行います。 市内大学等と連携して「えべつ市民カレッジ」を実施し、日々の生活や地域づくりに活かすことのできる知識が得られる機会の確保や情報提供を進めます。 						
	07-02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造						
	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術鑑賞の機会や活動の場を確保するため、市民文化ホールや郷土資料館、セラミックアートセンターをはじめとする文化施設の感染症対策を徹底し、安心して利用できる施設運営に努めるとともに、音楽会や企画展、各種講座の充実を図ります。 個人・団体による自主的な文化・芸術活動を推進するとともに、活動団体の安定的な運営に対する支援を行います。 歴史的建造物を有効に利用して、その価値を市民に還元することを目指し、「北海道林木育種場旧庁舎」の民間活用を進めるため、劣化した外壁等の改修を行います。 文化財や歴史遺産を調査・保存し、後の世代に継承していくため、老朽化した文化財整理室の移転を行い郷土資料館の展示機能の充実につなげます。 						
	07-03 市民スポーツ活動の充実						
	<ul style="list-style-type: none"> 市民が日常的にスポーツに親しみ、充実した活動を行う機会を確保するため、体育館をはじめとするスポーツ施設の感染症対策を徹底し、安心して利用できる施設運営に努めるとともに、「江別市スポーツ施設長寿命化計画」に基づき、施設の適正な維持・改修整備を計画的に進めます。 青少年のスポーツ環境向上に向けて、「はやぶさ運動広場移転に係る基本構想」に基づき、少年野球場の新設に向けた整備を進めます。 生涯スポーツの環境向上に向けて、あけぼのパークゴルフ場の拡張に向けた、設計・整備を進めます。 幅広い年齢層に対応した活動機会の提供及び地域や関係団体との連携によるスポーツ活動団体活性化のため、感染症対策の徹底や注意喚起を行いながら、活動団体への支援や軽スポーツの普及推進、スポーツ教室を開催します。 体育施設管理団体と連携して、利用者アンケート等により市民ニーズを的確に把握し、体育施設の利便性向上と利用促進を図ります。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、スポーツへの関心を高め、市民スポーツ活動の振興を図るため、スポーツ合宿誘致やパラリンピック採火イベント等を実施します。 						
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H29年度	H30年度	R元年度
生涯学習を通じて心の豊かさを実感している市民割合		%	33.2	28.1	29.4	29.5	↗
文化・芸術活動に参加している市民割合		%	-	23.5	23.2	26.7	↗
週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合		%	40.2	39.8	40.6	49.2	↗
教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「社会教育総合計画」 生涯学習の機会が充実していると思う市民割合		%	72.0	63.1	60.4	69.9	↗
「社会教育総合計画」 文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合		%	45.1	36.3	34.9	38.9	↗
「スポーツ推進計画」 スポーツ機会が充足していると思う市民割合		%	76.5	66.3	62.6	70.4	↗

2. えべつ未来戦略(教育部関係分)

戦 略	■ 具体的施策 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	②教育内容の充実 「小中学校学習サポート事業」(学校教育課) 「GIGAスクール構想推進事業」(学校教育課) 「小中学校外国語教育支援事業」(学校教育課) 「スクールソーシャルワーカー事業」(教育支援課) 「医療的ケア児支援事業」(教育支援課)
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	

3. 教育部の資源

		実 績			予算額	
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	2,451,252	2,267,882	2,280,931	2,607,378	2,599,849
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	2,451,252	2,267,882	2,280,931	2,607,378	2,599,849
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	98.00	101.00	98.00	98.00	95.00
	平均単価 (b)	7,618	7,627	7,687	7,741	7,602
	人件費 (a×b)	746,564	770,327	753,326	758,618	722,190
総 額		3,197,816	3,038,209	3,034,257	3,365,996	3,322,039

